



義務教育学校「**浅口市立寄島学園**」の校章・校歌正式決定

5月16日(木)に第10回寄島地区義務教育学校開設準備委員会(以下、準備委員会という)を開催しました。第9回の準備委員会で方向性が決まっていた校章・校歌について正式に最終決定をしましたので、そのことについて報告いたします。

校章について



(現在の寄島小・寄島中の校章)

寄島学園



校章については、現在の寄島小学校と寄島中学校の校章の共通の外枠を生かし、その中のデザインについては、寄島地区の子どもたち(寄島小学校児童・寄島中学校生徒・寄島こども園児・竜南保育園児)が投票し、共通した外枠に「寄」という漢字を中に入れたものに決定していました。今回、右記のように微調整を行い、デザインをデータ化し、準備委員会で正式に決定しました。

なお、外枠の由来についても話し合いました。旧寄島東西小学校や寄島高等学校等の校章を調べたり寄島町史などでも調べたりしました。結果、寄島地区の名勝である三ツ山を象ったものであるという見解で一致しました。



校歌について

校歌については、現在の寄島小学校と寄島中学校の「小学校」や「中学校」という歌詞の部分を「寄島学園」や「学園」に変えて新しい学校の校歌にしていくこと、現小学校の校歌を第1校歌、現中学校の校歌を第2校歌として、運用については学校で検討していくという方向で決まっていました。今回、作曲者などの著作権の許諾を得て、準備委員会で正式に決定しました。そして、二つの校歌を体育館の左右の前壁面にバランスよく設置することになりました。

寄島学園第二校歌

作詞 八方 易久
作曲 不詳

一 寄島学園第一校歌
作詞 三宅 雅司
作曲 菱川 欣三郎

二 龍王山を仰ぎつつ
みんな心のゆたかな子
未来に向けてたゆみなく
進む寄島学園

三 瀬戸の潮風心地よく
みんな仲良くやりぬく子
花咲くあすを築くため
はばたく寄島学園

学ぶ寄島学園

一 歴史は遠し応神の
帝船寄せ給いたる
我が寄島に燦と咲く
文化の園生 寄島学園

二 安倉の磯に打ち寄せて
飛びて砕けてまた寄せる
かの白波の努力もて
雄々しく行かん諸共に

三 青佐の山の峯の松
四時常磐に色まして
こめし千歳の緑こそ
我等が心の操なれ

四 潮干遙かに三郎の
友呼びかわす浜千鳥
真と愛とに手をとりて
我等寄島 寄島学園